

アジア・太平洋電気通信共同体(APT)研修の実施

「上級幹部政策研修ワークショップ」(2026年2月2日～5日、東京)

本研修は、各国の通信主管庁の政策立案責任者等の上級幹部職員を対象として、通信政策課題の解決に向けたワークショップ型研修コースを開催し、政策課題毎のテーマによる論議を通じて、問題の解決方策や多面的な視点を提供するとともに、参加者の相互理解と人脈形成を支援することを目的としています。※これまでに、2019、2020、2022 及び 2023 年及び 2024 年に実施。

今回は、アジア及び大洋州地域の APT 加盟国の通信主管庁等の局長級上級職員 5 名及び APT 事務局総長が参加しました。

○ 参加者 5 名(カンボジア、ラオス、マレーシア、モンゴル及びネパール)



総務省表敬



講義の様様



講義の様様



視察の様様

**「電波（周波数）の有効利用に資する最新無線技術動向研修」
（2025年12月8日～12月12日、東京）**

移動体通信の利用の急増や大規模災害時における無線通信利用の重要性や有効性など無線通信の更なる高度化に対するニーズと期待が高まっています。

本研修では、研修生が周波数を最適に有効利用するための制度・政策、最新の移動体通信技術やサービス動向を学び、各国における電波の有効利用促進することを目的としています。

今回、本研修として初めて総務省を表敬訪問しました。講義の内容としては、総務省、関係機関等による講義に加え、ローカル 5G を活用した農業の取組みや、長距離伝送無線 LAN(802.11 ah)が日本で実用化されるまでの導入ステップや法整備についての説明、設備見学、様々なユースケースのご紹介、最新の放送技術、5G とのダイレクト接続による衛星通信、自然災害に備えるための通信事業者・自治体・政府間の連携の取組み等について、無線技術の活用に関する幅広い分野の講義と視察を行いました。最後に参加者全員によるグループディスカッションを開催し、学ばれた内容のレビュー、ならびに今後の活用方法等について活発な意見交換を行っていただきました。

○ 参加者 10 名

（7 か国：カンボジア、インドネシア、マレーシア、モンゴル、タイ、ベトナム、フィリピン）



総務省表敬訪問



グループディスカッションの様子